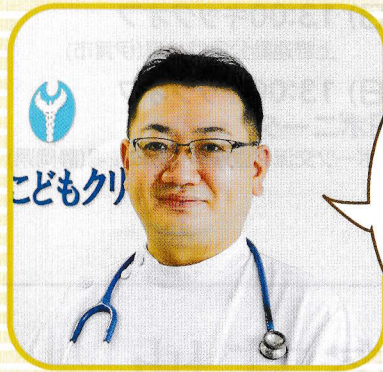


キラリ輝く/ 仕事人 Vol.69

寄り添う存在に

新生児から思春期まで、予防接種をはじめ、子どもたちの病気の治療や成長に寄り添う小児科。開院してまもなく5年。「こどもは宝。未来に向けて安心して育てほしい」と話す、「みらいのこどもクリニック」院長、柏木慎太郎さんにお仕事について聞きました。



仕事に就いたきっかけは？

小学生の頃、手塚治虫の漫画「ブラックジャック」を読んで、病気やけがを次々と治していく医師に憧れたのが最初です。医学部6年生の時、いろんな科を研修で回った中で、小児科では常に前向きな子どもたちのエネルギーや反応が心地よく感じて、将来の自身の仕事に選びました。

小児科医 柏木 慎太郎さん (46)

医師歴：16年

座右の銘：初志貫徹

尊敬する人は：ビートたけし

休日は：愛車「GT-R」に乗って、気分転換の一人ドライブ



診察では、病状をしっかりと把握するため、保護者からの聞き取りは「じっくり、細やかに」がモットー

どんな仕事？

体調不良での一般診療から、予防接種、乳幼児健診、アレルギー診療を行っています。保護者の皆さんの不安を取り除くことも、開業医の大事な仕事。お母さんたちが「病院へ行くべきか」「家で様子を見てよいのか」など、子どもさんの病状を判断できるように、診療時にはアドバイスは欠かしません。

仕事の魅力は？

病気の時に一番近い存在、として、お母さんたちの「安心しました」の声がうれしいですね。また、小さい頃ぜんそくで苦しんでいた子が、「今は部活で走り回っているよ」など、体が強たくましくなった話を聞くと、やりがいを感じます。



病状によってはレントゲン撮影も。「不安で泣き出す子もいるので、優しく声をかけをしながら」

協力：みらいのこどもクリニック 名張市希中央4番町2番 メディカルセンター 4階 TEL 0595-62-3888